

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

河内町 解答と解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	旧給食センターを改修し、世界初のライスジュレ(米ゲル)工場が2016年(平成28年)12月に完成しました。ライスジュレ(米ゲル)は、米をゲル状にすることで小麦粉や添加物の代わりにお菓子やパン、麺類などに加工ができます。	3
2	妙行寺(みょうぎょうじ)は天台宗の寺で、806年(大同元年)満願上人(まんがんしょうにん)の開基と伝えられ、ご本尊の木造阿弥陀如来坐像(もくぞうあみだによらいざぞう)は、河内町唯一の茨城県指定文化財で、鎌倉時代の作です。	4
3	長竿亭(ながさおてい)は古民家再生プロジェクトにより、2016年(平成28年)にオープンしました。そば屋さんとしてとてもおいしいと評判で、町外からも多くのお客さんでにぎわっています。	1
4	ワイルドスワズは10年以上続く革工房で、丈夫で質の高い製品は日本だけでなく世界からも注目されています。	2
5	1987年(昭和62年)に発表された「河内稲穂音頭」は、作詞星野哲郎(ほしの てつろう)氏、作曲市川昭介(いちかわ しょうすけ)氏という戦後の歌謡界を代表する2名により制作され、1番の冒頭は「 田ん圃作り に力を出して」から始まり、河内の自然とそれから生み出されるお米などの自然の恵みに感謝し、その中で生きる人々を描いた内容になっています。	4
6	歌人大野誠夫(おおの のぶお)の生誕90年、没後20年を記念して2004年(平成16年)にかわち水と緑のふれあい公園不動免沼湖畔に歌碑が建立されました。歌碑には大野誠夫の郷里を恋い慕った一首「逢ひたかる人みな失せし川べりの村歩みをり眠れるわれは」が刻まれています。	2
7	大野教育長のお宅にあった樹齢300年、重さ6トンのケヤキの木をいただき、学園の子どもたちが大きく立派に育ってほしいと願って設置されました。	3
8	旧金江津(かなえつ)中学校は、現在民間企業がドローンの研究開発を行っており、毎年操縦技術などを競うドローンコンテストも開催されています。	1
9	町のイメージキャラクター「かわち丸」は、頭がお米、体がレンコン、腰にアジサイのワンポイントがある、人間でも動物でもない謎の生物です。	2
10	町の面積4,430ヘクタールに対して、2,750ヘクタールの田耕地面積があり、約60パーセントが田んぼとなっています。	4
11	1936年(昭和11年)イギリスで行われた世界新教育会議で、当時の新しい教育思想「自由教育」を行ってきた旧金江津(かなえつ)小学校が紹介されました。	2
12	片岡万平(かたおか まんぺい)、石山市左衛門(いしやま いちざえもん)、成毛与五右衛門(なるけ よごえもん)の3人は、厳しい年貢を取り立てる代官の暴政を訴え処刑されました。近隣村民は3人を三義人(さんぎじん)と呼び生板(まないた)地区の妙行(みょうぎょう)寺に供養塔を建立し、手厚く供養しました。	4
13	古代から明治にいたるまで、生板(まないた)・源清田(げんせいだ)・長竿(ながさお)の3地域は常陸国に、金江津(かなえつ)地域は下総国に属しており、廃藩置県によって千葉県の一部となっていた金江津村は、1899年(明治32年)茨城県稲敷郡に編入されました。のちに、1958年(昭和33年)に旧河内村と金江津村が合併し、河内村が誕生しました。	3
14	河内町の鳥に制定されている鳥は、ヒバリです。益鳥として誰からも親しまれ、大空に舞い上がる姿は明日への希望と発展を象徴しています。	1
15	平成30年度の燃えるごみの処理状況は2,260トンで、2018年(平成30年)10月1日時点の人口(8,903人)で割ると、約270キログラムとなります。	3
16	河内町の地形は、利根川に沿って東西に約20キロメートル、南北に約3キロメートルと細長い形になっています。	2
17	平成30年度は、平成29年度の約2倍の約4億7,100万円の寄付をいただきました。	4
18	藤蔵河岸金毘羅常夜燈(とうぞうがしこんびらじょうやとう)は、1838年(慶応4年)の再建、1888年(明治21年)の再々建で、以前は中河岸の川べりにありましたが、現在は土手の外側にあり、かつての川の流れと人々の暮らしの営みを静かに伝えています。	1
19	河内町は、茨城県側では稲敷市、龍ヶ崎市、利根町、千葉県側では成田市、神崎町、栄町の6つの市町と隣接しています。	3
20	岩橋一白(いわはし いっぱく)は、小林一茶(こばやし いっさ)と同門で親交が深く、1791年(寛永3年)に初めて一茶が訪問して以来、実に22回も訪問し、宿泊は56泊にも及んだそうです。	2
21	絵の題名は、「鳳雛(ほうすう)世界の空へ」です。鳳雛とは、中国神話の伝説の鳥である鳳凰(ほうおう)のひなで、将来を期待されている少年のことで、立派に育った河内っ子が、世界にはばたき社会の中で活躍するという願いが込められています。	4
22	当時の妙行寺(みょうぎょうじ)の住職、大宮孝潤(おおみや こうにん)は、大隈重信(おおくま しげのぶ)と親交が深く、前年の大洪水の被害にあった村民の激励のために大隈重信を招き、境内で大演説会を行いました。境内は、6,000人の聴衆であふれかえったそうです。	1
23	河内町の水道事務所から、1日約3,000立方メートル、リットルにすると約300万リットルで2リットルのペットボトルにすると約150万本分の水が毎日各家庭へ送られています。	2
24	河内町立かわち学園の屋根には、災害時や救急医療のヘリコプターの目印になるように「かわち」の文字が書かれています。	3
25	河内町の町道(国道・県道を除いた道路)の総延長は約419キロメートルで、関西方面へ直線距離にすると京都府京都市まで達することになります。	4